

道北連携地域政策展開方針の推進状況について

目次

- 1 道北連携地域政策展開方針の概要[P.1]
- 2 主なプロジェクトの推進状況[P.2～9]
- 3 評価指標(KPI)一覧及び分析・対応方向[P.10～15]

令和6年7月
宗谷総合振興局



道北連携地域政策展開方針の概要

上川地域
留萌谷地
宗谷地域

1 地域のめざす姿

- 広大な土地や特色ある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる「道北連携地域」

2 主な施策の展開方法

- 地域特性を活かした産業振興
- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり
- 離島地域の振興
- 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

3 地域重点政策ユニット 全13プロジェクト（主なプロジェクトを掲載）

プロジェクト名	主な施策
魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト【道北地域】	■ 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信 ■ 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進
安全・安心な地域づくりプロジェクト【道北地域】	■ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり ■ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等
新エネルギー導入・活用推進プロジェクト【道北地域】	■ 地域が連携した新エネルギー導入促進の取組 ■ 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進
活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト【宗谷地域】	■ 宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進 ■ 広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進
人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト【宗谷地域】	■ 環境に配慮した地域づくり ■ 野生鳥獣・海獣の適正な管理の推進
地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト【宗谷地域】	■ 多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進

4 方針の推進期間

令和3年度(令和4年1月)から概ね4年

魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

特色ある自然や農畜水産物、芸術文化等を活かした地域の魅力発信、広域周遊や体験・滞在観光等を推進するほか、道北地域への来訪促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進【振興局】



○「かみかわOSAKEミーティング」in Factoryの開催
開催日：令和5年8月17日
場 所：管内酒類製造3社、他
概 要：上川管内の酒類製造業者が繋がる場を設け、上川の「OSAKE」のブランディングや情報発信力等向上のため、製造現場見学及び意見交換会を実施。事業者11社、5自治体の計26名が参加。

■広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進【市町村、振興局、民間】



○「オロロンライン・サイクルルート」のルート決定
決定日：令和5年11月16日
概 要：ルート試走会（5月（留萌～羽幌）、10月（羽幌～天塩））により検証を行い、オロロンライン・サイクルルート連絡会議にて決定
休憩所、サポート体制、走行上の注意、地域ルートなどを掲載したルートマップ（データ）を作成し、観光連盟、開発建設部、振興局のHPにて情報提供を行う。

■首都圏における宗谷の食と観光PRの実施

【市町村、民間、振興局、宗谷観光連盟】



○「すごそ！宗谷へおいでよ2024」

開催日：令和6年3月1日～7日

場 所：東京都

概 要：宗谷観光連盟及び各市町村・観光協会と連携し、東京メトロ銀座駅において、観光パンフレット「最北の春夏秋冬」を配布する等、宗谷エリアの観光PRや特産品販売などを実施。市町村を含む総勢23名の職員が参加し、期間中に観光パンフレット等12,000部を配布したほか、特産品21品目、約530個を販売した。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
観光入込客数	2,260万人（R1）	1,912万人（R4）	2,504万人（R7）	76.4%
〔内訳〕 観光入込客数（上川）	1,904万人（R1）	1,593万人（R4）	2,110万人（R7）	75.5%
観光入込客数（留萌）	147万人（R1）	155万人（R4）	163万人（R7）	95.1%
観光入込客数（宗谷）	209万人（R1）	164万人（R4）	231万人（R7）	71.0%

R6年度の主な取組

■管内スポーツ合宿誘致のためのモニター合宿を実施する【上川総合振興局】

■管内のアウトドア振興のため、サイクルルート試走会やキャンプと食を組合せたイベントの実施【市町村、留萌振興局、留萌観光連盟】

■首都圏等における宗谷の食と観光PRの実施【市町村、民間、宗谷総合振興局、宗谷観光連盟】

安全・安心な地域づくりプロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めるとともに、地域住民が安心して暮らせるよう防災・減災の取組を進める。

これまでの主な取組・成果

■地域医療従事者等の確保のための情報発信【市町村、振興局】

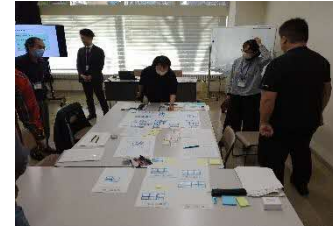


○医療従事者への取材・情報発信

開催日：令和5年12月14日～令和5年12月15日

場 所：稚内市総合体育館

概 要：宗谷で情熱をもって働く医療従事者を取材し、都市部の医療従事者向けに宗谷で働く魅力を発信するとともに、宗谷管内の高校生を対象とした企業展示会で、医療従事者についてのPRを行った。



○留萌管内北海道地域防災マスター認定研修会

開催日：令和5年11月18日

場 所：留萌合同庁舎

概 要：平常時や災害時における防災知識等の普及・啓発活動等を行い、地域での防災活動のリーダーとなる「北海道地域防災マスター」の養成を目的に開催した。

■災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等【市町村、振興局】



○北海道地域防災マスター認定研修会

開催日：令和5年11月25日

場 所：中富良野町農村環境改善センター

概 要：地域防災活動者などを対象に、地域における防災活動のリーダーを育成するため講話や避難所運営ゲーム等を実施。



○指揮室運営等図上訓練

開催日：令和5年6月20日

場 所：宗谷合同庁舎 2階講堂

概 要：大規模災害の発生を想定し、救出救助活動を検討する等、各機関が新体制となったことを踏まえ、災害対策業務の早急な習熟及び連携・協力の構築・強化を図った。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
自主防災組織活動カバー率	52.9%（R2）	54.7%（R5）	84.3%（R7）	64.9%
〔内訳〕 自主防災組織活動カバー率（上川）	55.3%（R2）	56.0%（R5）	84.3%（R7）	66.4%
自主防災組織活動カバー率（留萌）	45.3%（R2）	47.4%（R5）	84.3%（R7）	56.2%
自主防災組織活動カバー率（宗谷）	39.9%（R2）	48.7%（R5）	84.3%（R7）	57.8%

R6年度の主な取組

■地域医療構想調整会議等を開催し、地域ニーズに対応した医療提供のための連携方策を検討【上川総合振興局・留萌振興局、宗谷総合振興局】

■防災関係機関の連携強化による地域防災力の向上【上川総合振興局・留萌振興局、宗谷総合振興局】

■医療従事者の確保に係る取組【市町村、宗谷総合振興局】

新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

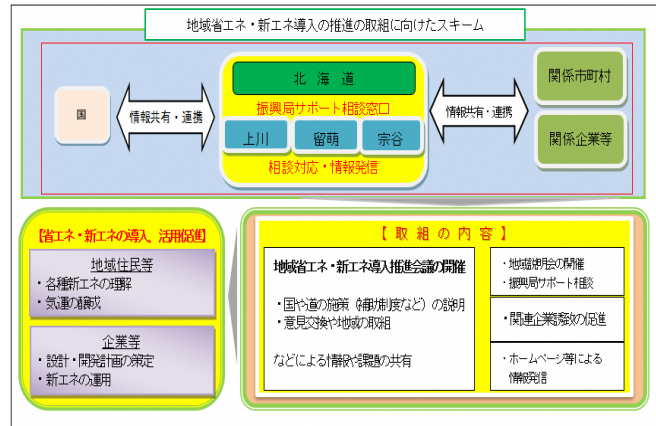
【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギー等について、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図る。

これまでの主な取組・成果

■地域が連携した新エネルギー導入促進の取組【振興局・市町村・民間】



●上川・留萌・宗谷地域省エネ・新エネ導入推進会議の開催

開催日：R5. 10. 6

場 所：オンライン

概 要：新エネルギー導入に向けた情報共有・意見交換等を実施

●各地域省エネルギー・新エネルギーサポート相談窓口

開催日：通年

実 績：【上川】5件【留萌】4件【宗谷】1件

概 要：事業者や一般道民等が取り組む導入促進等に関する相談に対する情報共有

●コーディネーターの派遣

- ・新エネルギー等の導入に至っていない市町村を訪問し取組の掘り起こし
 - ・コーディネーターを地域に派遣し、設備導入に向けた計画策定等を支援
- 実 績：【上川】5件【留萌】6件【宗谷】1件

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新エネルギーに関するサポート件数	18件（R2）	10件（R5）	36件（R7）	27.8%
〔内訳〕新エネルギーに関するサポート件数（上川）	8件（R2）	5件（R5）	16件（R7）	31.2%
新エネルギーに関するサポート件数（留萌）	3件（R2）	4件（R5）	6件（R7）	66.7%
新エネルギーに関するサポート件数（宗谷）	7件（R2）	1件（R5）	14件（R7）	7.1%
上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円（H30）	21,060百万円（R2）	23,760百万円（R6）	88.6%

R6年度の主な取組

- 「かみかわ版ゼロカーボン」に向けた各種プロモーション（普及啓発イベント・アカデミーツアー等）の実施【上川総合振興局】
- 市町村等に対して新エネルギーなどに関する積極的な情報提供の実施【留萌振興局】
- 「SOYA新エネルギー・ゼロカーボンプロジェクト」（普及啓発イベント・新エネ関連施設見学会等）の実施【宗谷総合振興局】

ロシア極東との交流推進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

グローバル化の潮流を捉え、人口減少に伴う域内需要の減少に対応するためにも、これまで築いてきた友好関係や地理的優位性を活かしたロシア極東地域との経済交流を一層推進し、地域経済の活性化を図る。

これまでの主な取組・成果 ※ロシアによるウクライナ侵攻（R4.2）に伴い、令和4年度以降取組実績なし

■育英館大学（旧：稚内北星学園大学）との連携によるサハリン交流【市町村、民間、振興局】



○オンラインによる大学生交流事業

時期：令和4年2月

場所：宗谷合同庁舎

概要：オンラインで稚内北星学園大学とサハリン国立総合大学を結び、それぞれの地域の紹介や新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響等をテーマに意見交換を実施。道側は5名、サハリン側は8名の学生が参加し、地域レベルでの相互理解を深めた。

■稚内コルサコフ定期航路の運航継続に係る支援【市町村、民間、振興局】



○貨物船チャーター事業

時期：令和3年7月～令和4年3月（全4回）

場所：稚内市、サハリン州

概要：稚内港を拠点としたサハリンとの間の物流の促進を目的に、稚内市が稚内・コルサコフ航路を利用して、4回チャーター便を運航。当該チャーターで運搬した商品は「北海道フェア」でも出展。

R6年度の主な取組

ロシアとの交流事業等については、現在の状況下では、当初想定していた事業効果を得ることが見込めないことから、関連事業の実施は延期。

天塩川ブランド力向上プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

目的

「天塩川」の魅力ある地域資源を道内外に発信することにより、価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ 地域おこし協力隊同士の情報交換やネットワークづくりを目的とした研修会を実施【市町村、民間、振興局】



○上川管内地域おこし協力隊サポートセミナー及び起業セミナーの開催
開催日：令和5年12月12日
場 所：旭川市内
概 要：隊員が現在の職務でより充実した地域協力活動を行うことや、任期満了後に地域への定住促進を図るための研修会を開催。隊員や関係市町村職員約46名が参加。

■ 「北海道くらしミーティング・移住セミナー」で天塩川周辺地域をPR【市町村、民間、振興局】



○北海道くらしミーティング・移住セミナーの開催
開催日：令和5年10月1日
場 所：東京都内
概 要：人口減少社会を見据えた地域の活性化策として道内への移住促進を図るため、東京都内において管内市町村と共に移住セミナーを実施。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
地域おこし協力隊員数（天塩川周辺地域）	54人（R1）	75人（R4）	78人（R7）	96.2%
〔内訳〕 地域おこし協力隊員数（天塩川周辺地域）（上川）	38人（R1）	56人（R5）	55人（R7）	101.8%
地域おこし協力隊員数（天塩川周辺地域）（留萌）	5人（R1）	2人（R5）	7人（R7）	28.6%
地域おこし協力隊員数（天塩川周辺地域）（宗谷）	11人（R1）	13人（R5）	16人（R7）	81.3%
観光入込客数（天塩川周辺地域）	306万人（R1）	291万人（R4）	340万人（R7）	85.6%
〔内訳〕 観光入込客数（天塩川周辺地域）（上川）	225万人（R1）	220万人（R4）	250万人（R7）	88.0%
観光入込客数（天塩川周辺地域）（留萌）	44万人（R1）	44万人（R4）	49万人（R7）	89.8%
観光入込客数（天塩川周辺地域）（宗谷）	37万人（R1）	23万人（R4）	41万人（R7）	56.1%

R6年度の主な取組

- 地域おこし協力隊同士の情報交換やネットワークづくりを目的とした研修会を実施【市町村、民間、上川総合振興局、宗谷総合振興局】
- 地域おこし協力隊員の起業支援を目的としたセミナーを実施【市町村、民間、上川総合振興局】

活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

地域の持続的な発展に向けて、宗谷の特色を活かした農林水産業の振興に取り組むとともに、基幹産業である1次産業の基盤強化を目指す。

これまでの主な取組・成果

■ 農業者らを講師とした乳製品加工体験などを交えた宗谷酪農をPR

〔市町村、民間、振興局〕



○「はじめよう！てっぺん宗谷の酪農人プロジェクト」

時 期：令和5年6月～令和6年1月 全4回

場 所：豊富町、幌延町、中頓別町、枝幸町

概 要：学生や消費者等を対象に、管内の農業者等を講師とした乳製品加工体験などを行い、宗谷の酪農及び農村の魅力を発信する交流会を開催した。

■ 宗谷の除・間伐材を活用した「木育」のPR〔振興局〕

○地域産材（宗谷産除・間伐材）の輪切りを活用した「木育」のPR

時 期：令和5年12月（全4回）

場 所：浜頓別町、利尻町

概 要：クリスマスに向けて木育教室を開催。輪切りにした宗谷産の除・間伐材を用いてミニクリスマスツリーやコースター作りを行い、参加者（合計50名）に対し、宗谷の「木育」をPRした。



■ 日本海やオホーツク海の海域特性に応じた栽培漁業の構築に係る取組〔市町村、漁業協同組合、振興局〕



○標 題 ヒラメ・ニシンの放流

時 期：令和5年6月、10月（全7回）

場 所：利尻富士町（鴛泊港及び周辺）、稚内市（抜海漁港、稚内内漁港、東浦漁港、稚内港天北北船溜）

概 要：ヒラメ稚魚約18万2千尾、ニシン稚魚30万尾を各地先に放流し、数年後の資源増大を図った。

■ 宗谷の食と観光PRの実施

〔市町村、民間、振興局、宗谷観光連盟〕

○「北海道のてっぺん 宗谷フェア」

開催日：令和5年9月20日～24日

場 所：どさんこプラザ有楽町店

概 要：宗谷観光連盟及び各市町村・観光協会と連携して、宗谷管内の特産品を集めたフェアを実施。5日間で22品目を約450個販売したほか、観光パンフレットを約1,500部配布。



主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
生乳生産量	318千t（R1）	297千t（R5）	335千t（R7）	88.7%
沿岸漁業に占める栽培漁業生産量の割合	87%（R1）	86%（R4）	88%（R6）	97.7%
伐採材積	386千m ³ （H28-R2）	430千m ³ （H30-R4）	480千m ³ （R3-R7）	89.6%

R6年度の主な取組

■ 管内特産品の販路拡大のための取組〔市町村、民間、振興局〕

■ 日本海やオホーツク海の海域特性に応じた栽培漁業の構築に係る取組〔市町村、振興局〕

人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

魅力ある自然環境を有する宗谷地域の持続的な発展に向けて、野生鳥獣・海獣の適正な管理に努めるとともに、自然との共生や環境に配慮した地域づくりを進める。

これまでの主な取組・成果

■ 自然環境の保全と持続的利用、再生の促進に係る取組 [市町村、振興局]



○高山植物保護対策事業
時 期：令和5年6月
場 所：礼文町
概 要：高山植物の不法盗掘を防止するため、宗谷森林管理署、稚内自然保護官事務所、礼文町、自然保護監視員等と合同でパンフレット配布などの啓発活動を実施。

■ 小・中学生を対象とした森林教室の実施 [市町村、振興局]



■ 野生鳥獣・海獣の適正な保護管理の推進に係る取組 [市町村、振興局]



○エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業
時 期：令和5年12月～令和6年3月
場 所：稚内市（航空自衛隊稚内分屯基地）
概 要：エゾシカによる各種被害や、生物多様性への影響等を減らし、地域のエゾシカ捕獲効率向上を目的に、国有林内の捕獲困難地で事業を実施。計35頭のエゾシカを捕獲。

○標 題 各市町村小中学校等と連携した森林教室の実施
時 期：令和4年6月～令和5年3月（全49回）
場 所：枝幸町ほか宗谷管内市町村
概 要：地域の森林、森林の役割等についての室内講義、地域材などを用いた木工作体験、屋外での森林散策やネイチャーゲームなどを実施。

主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
造林面積	1,701ha (H28-R2)	2,031ha (H30-R4)	2,512ha (R3-R7)	80.9%
自然公園利用者数	95.3万人 (R1)	60.7万人 (R4)	101万人 (R7)	60.1%
エゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	5,861頭 (R1)	7,616頭 (R4)	9,200頭 (R7)	82.8%

R6年度の主な取組

■ 自然環境の保全と持続的利用、再生の促進に係る取組 [市町村、振興局]

■ 地域の森林への関心を深めてもらうための取組 [市町村、振興局]

■ 野生鳥獣による被害対策のための取組 [市町村、振興局]



地元の間伐材を利用したクリスマスツリー



市街地に出没するエゾシカ

地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト

【推進エリア】宗谷地域

目的

管内人口の減少が続く宗谷地域の持続的な発展に向けて、地域の魅力を伝えながら、様々な世代がふるさとに愛着を持ち、住み続けられる環境を整えるとともに、多様な主体がつながり合う活力あふれる宗谷地域を目指す。

これまでの主な取組・成果

- 新規就農者確保に向けた農業系大学での就農促進セミナーの開催、
「新・農業人フェア」への出展〔振興局〕



○宗谷酪農セミナーの開催
時 期：令和5年5月
場 所：酪農学園大学（江別市）、日本大学生物資源科学部（神奈川県）、日本獣医生命科学大学（東京都）、東京農業大学農学部（神奈川県）
概 要：農業系大学の学生に対し、宗谷地域や農業の特徴、就農事例と酪農関連職業を紹介

- 移住促進のための取組〔市町村、振興局〕



○民間ポータルサイトによる情報発信
時 期：令和5年7月～
概 要：民間ポータルサイト NativeMediaに各市町村の移住関連施策や地域情報を掲載し、アンケート調査を実施した。
サイト閲覧数：約3,000件／月

- 地元への就業促進や人手不足解消を図るための取組〔市町村、振興局〕



○てっぺん宗谷 de しごと発見フェア2023
開催日：令和5年12月14, 15日
場 所：稚内市総合体育館
概 要：宗谷管内の高校1・2年生を対象に、オンラインを併用した企業展示会を開催。
○LINEを活用したUターン就職の促進
概 要：令和5年1月にLINEアカウントを開設。高校生や管内を離れた若年者に登録を促し、企業情報や地域情報を発信。

- 公共交通利用促進のための取組〔市町村、民間、振興局〕



○「子ども鉄道乗車体験」の実施
時 期：令和5年5月（離島編）
令和5年10月（本土編）
場 所：稚内市
概 要：子ども達の公共交通に対する関心意識を高めるため、管内小学生を対象に鉄道の乗車体験会を実施。

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
若年層の転出超過数	178人（R1）	803人（R1-R5累計）	800人以下 （R2-R6累計）	99.6%
新規就農者数	14人（H26-H30平均）	45人（R1-R5累計）	90人（R3-R7累計）	50.0%

R6年度の主な取組

- 一次産業の担い手対策・確保のための取組〔市町村、民間、振興局〕
- 地元への就業促進や人手不足解消を図るための取組〔市町村、振興局〕
- 地域おこし協力隊、移住者増加への取組〔市町村、振興局〕
- 公共交通利用促進のための取組〔市町村、民間、振興局〕



鉄道乗車体験

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	観光入込客数（連携地域）	2,260万人 (R1)	1,242万人	1,912万人	集計中			2,504万人 (R7)	76.4%
	〔内訳〕 観光入込客数（上川地域）	1,904万人 (R1)	1,005万人	1,593万人	集計中			2,110万人 (R7)	75.5%
	観光入込客数（留萌地域）	147万人 (R1)	119万人	155万人	集計中			163万人 (R7)	95.1%
	観光入込客数（宗谷地域）	209万人 (R1)	118万人	164万人	集計中			231万人 (R7)	71.0%
安全・安心な地域づくりプロジェクト	認定こども園設置数（連携地域）	40カ所 (R1)	65カ所	68カ所	70カ所			64カ所 (R6)	109.4%
	〔内訳〕 認定こども園設置数（上川地域）	33カ所 (R1)	56カ所	58カ所	59カ所			54カ所 (R6)	109.3%
	認定こども園設置数（留萌地域）	4カ所 (R1)	6カ所	6カ所	6カ所			5カ所 (R6)	120.0%
	認定こども園設置数（宗谷地域）	3カ所 (R1)	3カ所	4カ所	5カ所			5カ所 (R6)	100.0%
	自主防衛組織活動カバー率 （連携地域）	52.9% (R2)	54.0%	55.4%	54.7%			84.3% (R7)	64.9%
	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率 （上川地域）	55.3% (R2)	55.7%	55.8%	56.0%			84.3% (R7)	66.4%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
安全・安心な地域づくりプロジェクト	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率 (留萌地域)	45.3% (R2)	46.6%	47.5%	47.4%			84.3% (R7)	56.2%
	〔内訳〕 自主防衛組織活動カバー率 (宗谷地域)	39.9% (R2)	45.8%	47.8%	48.7%			84.3% (R7)	57.6%
新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	新エネルギーに関するサポート件数 (連携地域)	18件 (R2)	26件	20件	10件			36件 (R7)	27.8%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサ ポート件数 (上川地域)	8件 (R2)	14件	13件	5件			16件 (R7)	31.2%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサ ポート件数 (留萌地域)	3件 (R2)	5件	4件	4件			6件 (R7)	66.7%
	〔内訳〕 新エネルギーに関するサ ポート件数 (宗谷地域)	7件 (R2)	7件	3件	1件			14件 (R7)	7.1%
	上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円 (H30)	集計中	集計中	集計中			23,760百万円 (R6)	-%
ロシア極東との交流 推進プロジェクト	北海道からロシアへの道産食品の輸 出額	454百万円 (R1)	関連事業の実施を延期しているため、未掲載					726百万円 (R7)	-%
天塩川ブランド力向 上プロジェクト	天塩川周辺地域の地域おこし協力隊 員数 (連携地域)	54人 (R1)	62人	75人	71人			78人 (R7)	91.0%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の地域おこし 協力隊員数 (上川地域)	38人 (R1)	45人	58人	56人			55人 (R7)	101.8%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
天塩川ブランド力向上プロジェクト	〔内訳〕 天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（留萌地域）	5人 (R1)	3人	2人	2人			7人 (R7)	28.6%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の地域おこし協力隊員数（宗谷地域）	11人 (R1)	14人	14人	13人			16人 (R7)	81.3%
	天塩川周辺地域の観光入込客数（連携地域）	306万人 (R1)	255万人	291万人	集計中			340万人 (R7)	85.6%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の観光入込客数（上川地域）	225万人 (R1)	204万人	220万人	集計中			250万人 (R7)	88.0%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の観光入込客数（留萌地域）	44万人 (R1)	33万人	44万人	集計中			49万人 (R7)	89.8%
	〔内訳〕 天塩川周辺地域の観光入込客数（宗谷地域）	37万人 (R1)	18万人	23万人	集計中			41万人 (R7)	56.1%
上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト	地域産業への新規就業者数（農業）	106人 (R1)	80人	75人	集計中			123人 (R6)	60.9%
	地域産業への新規就業者数（林業）	38人 (R1)	44人	47人	集計中			45人 (R6)	104.4%
	管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合	72.2% (R2)	75.7%	78.4%	67.4%			75.0% (R7)	89.9%
	テレワーク施設等を利用してワーケーションを行った人数（延べ人数）	642人 (R2)	3,171人	6,446人	12,798人			4,494人 (R7)	284.8%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	省力化等による主要農作物作付面積の維持	79,857ha (R1)	78,789ha	79.094ha	集計中			79,000ha (R6)	100.1%
	上川地域の木材・木製品出荷額	20,834百万円 (H30)	集計中	集計中	集計中			23,760百万円 (R6)	-%
	食品工業の付加価値額	258億円 (H30)	339億円 (R1実績)	353億円 (R2実績)	324億円 (R3実績)			310億円 (R6)	104.5%
人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト	登山道補修イベント参加人数	40人 (H31)	40人	117人	117人			75人 (R6)	156.0%
	観光入込客数	1,904万人 (R1)	1,005万人	1,593万人	集計中			2,110万人 (R7)	75.5%
るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト	農業産出額	1,737千万円 (H26～H30平均)	1,733千万円	1,727千万円	集計中			1,737千万円以上 (R7)	99.4%
	主要漁業の所得	38億円 (H29)	34億円	45億円	集計中			42億円 (R7)	107.1%
	アンテナショップ（北海道どさんこプラザ）におけるテスト販売採用商品	11品 (H28～R2平均)	15品	14品	9品			13品 (R7)	69.2%
	るもい地産地消推進事業	6回 (H28～R2平均)	2回	2回	2回			7回 (R7)	28.6%
	伐採材積	108,000m³ (R1)	109,000m³	107,000m³	集計中			122,000m³ (R7)	87.7%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
るもい地域を支える 多様な人材の育成・ 確保プロジェクト	新規就業者数（農業）	9人 （H27～R1平均）	6人	5人	集計中			9人以上 （R7）	55.5%
	新規就業者数（漁業）	9人 （H27～R1平均）	5人	5人	9人			9人以上 （R7）	100.0%
	地域の労働力確保に取り組む団体	2団体 （R3）	2団体	2団体	2団体			5団体 （R7）	40.0%
活力ある宗谷の1次 産業推進プロジェクト	取組を通じた百貨店等との新規等取引件数	20件 （R2）	42件	36件	25件			30件 （R7）	83.3%
	生乳生産量	318千t （R1）	318千t	312千t	297千t			335千t （R7）	88.7%
	沿岸漁業に占める栽培漁業生産量の割合	87% （R1）	87%	86%	集計中			88% （R6）	97.7%
	伐採材積	386千m³ （H28-R2計）	402千m³ （H29-R3計）	430千m³ （H30-R4計）	集計中			480千m³ （R3-R7計）	89.6%
人と自然が共生する 地・宗谷創造プロジェクト	造林面積	1,701ha （H28-R2）	1,905ha （H29-R3計）	2,031ha （H30-R4計）	集計中			2,512ha （R3-R7計）	80.9%
	間伐面積	6,838ha （H28-R2計）	6,190ha （H29-R3計）	6,316ha （H30-R4計）	集計中			9,753ha （R3-R7計）	64.8%
	間伐材積	245千m³ （H28-R2計）	227千m³ （H29-R3計）	231千m³ （H30-R4計）	集計中			288千m³ （R3-R7計）	80.2%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
人と自然が共生する 地・宗谷創造プロ ジェクト	森林教室等開催件数	36件 (R2)	43件 (R3)	92件 (R3-R4累計)	113件 (R3-R5累計)			150件 (R3-R7計)	75.3%
	自然公園利用者数	95.3万人 (R1)	41.0万人	60.7万人	集計中			101万人 (R7)	60.1%
	エゾシカ捕獲数	5,861頭 (R1)	7,653頭	7,616頭	集計中			9,200頭 (R7)	82.8%
地域の多様な人材が 未来を創る「宗谷L IFE」プロジェク ト	若年層の転出超過数	178人 (R1)	796人 (H29-R3累計)	789人 (H30-R4累計)	803人 (R1-R5累計)			800人以下 (R2-R6累計)	99.6%
	新規就農者数	14人 (H26-H30平均)	49人 (H29-R3累計)	51人 (H30-R4累計)	45人 (R1-R5累計)			90人 (R3-R7累計)	50.0%
	新規漁業就業者数	46人 (H26-H30平均)	198人 (H29-R3累計)	215人 (H30-R4累計)	209人 (R1-R5累計)			200人 (R3-R7累計)	104.5%

分析・対応方向

- ・全評価指標のうち、30の指標が進捗率80%を超え、13項目が目標値を達成している。
- ・令和4年度観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による行動制限等がなく、令和3年度に比べて増加したものの、コロナ以前の数値までは回復しておらず、進捗率は基準値(R1)以下に留まっている。
- ・地域おこし協力隊員数（天塩川周辺地域）については、進捗率が90%を超えており、引き続き振興局と市町村の情報交換・連携を図るほか、SNSにより天塩川周辺地域の魅力を発信する。
- ・新エネルギーに関するサポート件数は、各地域とも減少傾向にあるが、引き続き市町村等と連携しながら、ニーズの掘り起こしや「ゼロカーボン北海道」実現に向けた気運醸成など、新エネルギーの導入促進を図る。
- ・各地域の担い手の育成・確保については、他産業との競合等により人材確保は難しい状況にあるが、新規参入や雇用就農など多様な担い手の確保に向けて、総合的な対策を実施する必要がある。
- ・今後については、引き続き市町村と連携しながら、新型コロナウイルス感染症によって生じた人々の行動変容や社会環境等の変化を捉え、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組の推進や戦略的な誘客、ワーケーションの推進など関係人口創出に向けた取組を推進し、持続可能な地域づくりにつなげていく。

評価指数全体の進捗率

